

2023年度 京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所 公開実習「魚類生態学実習」実施要項

1. 授業科目：

〔魚類生態学実習〕

実習の履修後に「実習修了証」を発行する。実習修了証にもとづく単位認定の可否については所属する大学の教務・学務担当に照会すること。なお、本実習は2単位相当としている。実習期間中は水産実験所の宿泊施設に合宿する。実習の詳細については次頁「**10. 実習日程と内容**」を参照すること。新型コロナウイルスの感染状況や天候の影響により予定を大幅に変更する可能性がある点に留意する。

2. 実施施設：京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

※自家用車等での来所は認めません。

3. 実施期間：2023年9月19日（火）～9月24日（日）

4. 対象学生：学部生の全年次（文系・理系を問わない）。京大生も受講可。

5. 定員：10名

6. 必要提出書類：

- ・受講願
- ・学生教育研究災害傷害保険及び付帯賠償責任保険加入証明書（領収書等のコピーでも可）

7. 申込締切：2023年8月20日（日）必着

8. 参加費用：

約9,000円（これに含まれるのは実習6日目までの昼・夕食費と宿泊費。他の食費、交通費は各自で準備のこと）

＊食費については、状況に応じて変更となる可能性あり

9. 提出・問い合わせ先：

〒625-0086 京都府舞鶴市長浜無番地

京都大学フィールド科学教育研究センター 舞鶴水産実験所

電話：0773-62-5512 E-mail：maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

※ 実習への参加を希望される方はメール（maizuru@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp）にて早めに受講意思を連絡し、担当職員から必要書類を受け取ること。受け取った書類に必要事項を記載のうえ、担当職員へメールを送付することで受付を完了とする。ただし、書類は個人情報を含むため、必ずパスワードをかけること。

10. 実習日程と内容：

（註）天候の影響等で実習の内容は変更することがある。

9月19日：西舞鶴駅「東口」13時00分集合*

舞鶴水産実験所にて安全講習・シュノーケリング講習・施設見学 実験所で宿泊

20日：城山公園にてシュノーケリング調査 実験所で宿泊

21日：緑洋丸での底曳網調査および室内での分析・胃内容物調査 実験所で宿泊

22日：魚類行動実験 実験所で宿泊

23日：魚類行動実験（つづき）・発表会準備 実験所で宿泊

24日：発表会 昼食後に西舞鶴駅で解散

*19日の集合前に各自で昼食をとっておくこと

シュノーケリングの基礎技術を習得しつつ、若狭湾の沿岸に生息する魚類を中心とした生物の観察を行う。教育研究船緑洋丸に乗船し、桁網（小型底曳網）を用いて底生生物（魚類・無脊椎動物）を採集し、種同定、形態観察、胃内容物調査を行うことで魚類についての基礎的知識を得る。魚類行動実験では、魚が学習する一連の行動を観察し、行動観察のデータ解析をとおして魚類の生態に関する理解を深める。